

鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程教育に関する三つの基本方針

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医学専攻博士課程では、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次を満たしたときに、博士（医学）の学位を授与します。

1. 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験に合格すること。
2. 医学研究者に求められる医学に関する豊かで幅広い学識及び高度な研究能力、さらには生命・医療倫理の深い知識とこれに根差した先進的な医療開発研究を遂行する能力を身に付けており、医学分野での高い専門性を通して、国際的に活躍できる能力を身につけること。
3. 医療の発展に貢献する専門的な知識と技術を持ち、高度な課題発見・解決力、コミュニケーション力及び倫理観を備えたりサーチマインドを持つ自立した医療人の素養を備えること。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学専攻博士課程では、次の方針のもとに体系的な教育課程の編成と研究指導を実施します。

1. 教育課程・教育内容

医学に関する豊かで幅広い学識及び高度な研究能力を身につけることができる、専門的、体系的な教育課程を構築します。

生命・医療倫理観を備え、これに根差した先進的な医療開発研究を遂行し、国際的に活躍できる能力を身につける機会を提供します。

2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業を通じて、卓越した知識・技能の効率的な修得を目指します。

専門性の高い複数の教員の研究指導により、高度な倫理観を備えたりサーチマインドを持つ自立した研究者・医療人の養成を行います。そのために専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を涵養します。

3. 学修成果の評価

特論・演習および特別研究に関して、研究科の定める成績評価基準に基づき厳格な学修成果の評価を行います。

特別研究に関しては、研究科の定める学位論文審査基準に基づき、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験により評価します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医学専攻博士課程では、生命・医療倫理の深い知識を備え、医学に関する豊かで幅広い学識及び高度な研究能力、さらには先進的な医療開発研究を遂行する能力や国際的に活躍できる能力を身につけた、サーチマインドを持つ自立した研究者・医療人を養成するために次のような人を受け入れます。

1. 専門分野において自ら課題を発見して解決するために必要な学力を備えている人
2. 研究に対して生命・医療倫理のもとに積極的に取り組む意欲をもっている人
3. 高度先進医療を志す人
4. 医学の基礎・臨床の先端研究に取り組み、コミュニケーション力を持って国際的發展に貢献する志のある人

医学専攻博士課程では、こうした入学者を国内外から受け入れるために、学力考査や口頭試問などにより多角的かつ総合的な評価による選考を行います。